

宣 言

老人クラブは、地域に自発的に生まれた高齢者の組織をもとに、戦後の社会福祉関係者の取り組みとイギリスの「老人クラブ」の理念に学び、敬老行事である「としよりの日」運動と呼応しながら全国へと広がりました。

昭和 37 年、「老後の幸せは自らの手で創り出そう」を合言葉につくられた老人クラブは、全国で 1 万を超え、30 におよぶ都道府県において連合会が組織されました。

これを契機に全国老人クラブ連合会が結成され、ここに創立 50 周年の記念すべき年を迎えました。

この間、老人福祉法の制定、老齢福祉年金の拡充や老人医療、介護保険制度の充実など、高齢者保健福祉の推進に寄与するとともに、地域においては高齢者の語らいの場、生きがいや健康づくりの拠り所として発展してまいりました。

人口減少・少子高齢化が進む今日、私たちは高齢者の健康長寿への取り組みを核として、若い世代とともに手を携え、「新たな絆社会」の創造をめざしています。

本日、ここに集う全国の老人クラブ代表者は、半世紀にわたり受け継がれてきた活動に思いを馳せ、新たな歴史の一步を踏み出すにあたり、次の事項の実践を誓い宣言します。

- 一. 健康長寿をめざす「健康づくり・介護予防活動」の推進
- 一. ふれあい・語らい・思いやる「地域支え合い活動（友愛）」の展開
- 一. 高齢者相互の連帯と「自己実現をめざす活動」の場づくり
- 一. 「高齢者の尊厳が守られる社会保障制度」の確立

平成 24 年 10 月 4 日

全老連創立 50 周年記念 全国老人クラブ大会
